

令和3年度第2回守山市図書館協議会 議事録（要旨）

令和3年10月20日(水)

午前10時30分から正午まで
守山市立図書館 多目的室

出席者

委員

足達委員、久米委員、丸田委員、浅田委員、岡田委員、佐伯委員、田中委員、真弓委員、村瀬委員、山田委員、馬淵委員、武藤委員、今関委員、岸本委員

事務局

向坂教育長、細谷教育部長、嶋本教育部次長、松本館長、西村副館長、佐藤参事、天谷主査

1 開 会

本日は、公私何かとご多用の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

定刻になりましたので、ただ今から、令和3年度、第2回守山市図書館協議会を開会させていただきます。

2 会長あいさつ

県内では二回目の緊急事態宣言が発令され、草津市の場合にはすべての公共施設を休館しました。ひとつ残念に思ったことは、前回に休館したときとほとんど対応が変わらなかったことです。前回の休館以降、いろいろな経験があったと思います。今度休館したら何ができるか、日頃から図書館で考えておいてほしかったと思います。

社会に変化があったときに何ができるか、きちんとサービスする側で検討しておくことが大切です。それが利用者に対するサービスの在り方を見直すきっかけになります。

この協議会の場では、委員の皆様方から図書館職員の方々にアイデアや考えを提案していただきたいと思います。

本日はどうぞよろしく申し上げます。

3 教育長あいさつ

本日は、大変ご多用の中、図書館協議会にご出席賜り誠にありがとうございます。

8月8日にまん延防止等重点措置、同月27日には緊急事態宣言が発出されましたことから、図書館では9月末まで貸館時間の短縮、学習コーナー等の座席縮小・停止等を実施し、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

10月より主催行事を再開し、10月9日には、図書館開館3周年読書日本一のまち記念講演といたしまして、文芸書出版社である祥伝社社長、辻浩明さまを講師に「やっぱり本はおもしろい！書き手と読み手をつなぐ」という題目でご講演いただきました。参加者からは「面白かった」、「紹介された本を読んでみたくなった」等、大変ご好評を得ることがで

きました。今後も行事を通しながら読書日本一のまちづくりに向け、本との出会いやきっかけを通しながら取組を進めてまいります。

また、11月1日には新図書館の3周年を迎えます。おかげさまをもちまして、今年度9月末までの貸出冊数は、開館年の令和元年度同時期を34,000冊上回り、大変多くの方にご利用いただいているところです。

今後、10月末から11月にかけては、記念講演会、ワークショップ、図書館サポート隊と協働でのクイズラリーやエピソードカードの掲示等、様々な記念行事を予定しております。委員の皆様もお時間がございましたら、ぜひご参加いただけましたらと存じます。

本日の協議会では、お手元の資料に沿いまして、様々な取組をご報告させていただきます。図書館の発展につながりますようご忌憚のないご意見をお願いいたします。

<司会者>

※会議成立報告・傍聴の確認等

<事務局>

本日は、梅景委員におかれましては、ご欠席との連絡を受けてございます。なお、本日の協議会でございますが、会議の成立要件である委員の半数以上がご出席いただいておりますことにつきましても、併せて、ご報告させていただきます。

議事に入る前に、本日2名の傍聴申請がありましたのでご報告いたします。なお、本協議会は守山市付属機関等の会議の公開等に関する要綱第3条により公開が原則とされておりますことから、傍聴していただいておりますでしょうか。

(全委員ご承認)

4 議事

<事務局>

これよりは、守山市図書館協議会規則第2条第3項、「会長は、会務を総理し、会議の議長となる」との規定に基づき、会長に進行をお願いしたいと存じます。

(1) 協議事項

<岸本会長>

それでは、次第に従いまして、本日の協議会の議事を進めてまいりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

協議事項、1点目「令和3年度 下半期の図書館の活動について」を事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料に沿って説明

ア 令和3年度下半期の図書館の活動について【資料1】

<岸本会長>

それでは、ただいまの説明に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたら、挙手のうえ、発言をお願いします。

<岡田委員>

記念講演について関連資料の展示はしていますか。

<事務局>

関連資料については、会場内で展示し、ご希望の方には貸出をしています。

<岸本会長>

資料、1頁イのワークショップについて、定員21人ということですがグループに分けて行うのですか。

<事務局>

3つのグループに分かれていただきます。

<岸本会長>

1つのグループには、職員1名と参加者7名ですね。進行役は図書館職員がやることになるのですか。

<事務局>

その予定です。

<岸本会長>

図書館職員と参加者は発言できるように、できれば進行役は職員とは別の方がいいと思います。

たとえば協議会委員のような、図書館の立場も市民の立場も理解されている第三者的な立場の方ではどうでしょうか。

どなたかお受けいただけませんか。

(佐伯委員、真弓委員、武藤委員がご承諾)

<事務局>

3名の委員の皆様、どうぞよろしく申し上げます。

<岸本会長>

次に、「令和3年度守山市立図書館活動計画の主な進捗と課題について」事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料に沿って説明

イ 令和3年度守山市立図書館活動計画の主な進捗と課題について【資料2】

<岸本会長>

それでは、お一人ずつ発言をお願いします。

<今関委員>

資料、3頁イの居心地よい空間づくり(ア)の学習コーナーについてです。

朝10時前に来館しますと、学習コーナーを希望する人は混雑なく職員の誘導によりスムーズに利用されています。相変わらず利用は多いですが以前のように騒がしい感じはなく整然と利用されていて、問題解決がなされていると感じています。

課題として挙がっているWeb予約について教えてください。

<事務局>

自宅等からWeb上で事前に学習席の利用予約ができ、朝並んでいただくことなく利用していただけるようになります。混雑する土・日曜日、祝日等の午前を対象に検討しているところです。

<今関委員>

今後、学習コーナーがより利用しやすくなることを期待しています。

<岡田委員>

学習コーナーでは、国立国会図書館のデジタルコレクションの案内をされているということですが、以前は勉強の合間に気分転換できる本の紹介を行っていたという報告がありました。今は両方を掲示、紹介されているのでしょうか。

<事務局>

現在は、本の紹介を取り止めてデジタルコレクションの案内をしています。

<岡田委員>

紹介された本の利用はどうだったのでしょうか。

<事務局>

紹介した中で利用された本もあります。前回の協議会でコーナーに学習に役立つ情報の案内をしてはどうかというご意見を賜りましたこともあり、掲示を変更しております。

<岡田委員>

資料、5頁ウ、地域情報の収集と発信についてですが、国立国会図書館のレファレンス協同データベースには参加していますか。

<事務局>

参加しています。

<岡田委員>

滋賀県立図書館でもデータベースに参加しレファレンス事例を登録しています。登録された事例は国立国会図書館がT w i t t e rで紹介してくれます。地域に関する質問と回答を登録することで守山の情報を全国に発信できます。

先日、滋賀県立図書館のレファレンスで狂言の「蚊相撲」について調査しました。その過程で、近世守山の名物が蚊と相撲であることがわかりました。また、守山は浄土真宗の金森合戦の地でもありますし、全国に発信できる歴史があるまちだと思えます。

<田中委員>

私は、商工団体の代表として参加しています。

商工会議所は図書館の場所をお借りして、地元企業の展示コーナーの開設、創業塾を開催しています。創業塾の参加者からは、「商工会議所は敷居が高いが、図書館では気軽に参加できる」というお声を聞いています。創業塾には様々な世代の方が参加されています。多くの人が集まる図書館と連携することは重要であると思っています。

守山市は「起業家の集まるまち守山」を掲げています。地域経済にも貢献できる図書館を目指していただきたいと思います。

<岸本会長>

市民から図書館は、気楽に来やすいと捉えていただけており、様々な連携の可能性があります。

ビジネス支援について図書館の取組を教えてください。

<事務局>

市内企業の展示については、市商工観光課と連携して2か月に1回実施しています。掲示されたパンフレット等は蔵書として登録し、地域資料として保存しています。

日本政策金融公庫から図書の寄贈を受け、市内中小企業の支援として8月には2階に関連図書の展示コーナーを設け、8月・9月にはギャラリーでパンフレット等の展示をさせていただきました。

<岸本会長>

催し物を通じて収集された資料や情報等の発信についても工夫をしてほしいと思います。

<真弓委員>

私は、滋賀県子ども文庫連絡会の活動をしています。図書館の貸館を利用することが多いので、公共施設予約システムの開始はすごくありがたいと感じています。

また、資料5頁(3)、人と人がつながる図書館については、人と人が直接つながることが大切だと思いますので、一刻も早くコロナが終息して、そのような取組が再開できるよう

に祈っています。

<山田委員>

図書館見学のDVDを作成しました。上映前に内容の説明をさせていただきます。

<村瀬委員>

資料、8頁(5)、読書日本一のまちづくりへの取組については、市広報1日号に掲載をいただいています。広報は、一般の方が図書館の取組を知る一番よい機会なので続けていただきたいと思います。図書館のチラシも地区会館等を通して周知できるといいと思います。

子どもたちへのおはなし、読み聞かせが早く再開できるとよいと思っています。子育てサロンをして気づくことは、最近のお母さん方は1歳になると子どもさんを保育園に入園させてしまわれるので、家庭での子どもへの読み聞かせの機会が減っています。教育機関での読書タイムは本に触れる機会ですので減らさないようお願いしたいと思います。

電車でも以前はみんな読書をしていましたが、今はスマホを見ている人が多く、若い方の読書離れが進んでいると感じています。図書館は新しくなって土曜や日曜など、たくさんの方が来館されています。コロナが終息して活動が充実していけばいいと思います。

<馬淵委員>

コロナで学校や園におはなしのボランティアに行けない期間が続きましたが、今年度は幼稚園に6月から、小学校も11月から行けるようになりました。

読み聞かせに行けない間はできることを考えて、おすすめの本のポスターや本の贈呈などを行いました。やはり読み聞かせで声と絵本で子どもたちに楽しい時間を提供できることがよいと実感しました。

ボランティアはマスクをして、子どもたちは机の上にパーテーションがあつて聞くので、どの程度、声が届き絵本が見えているのか、これから続ける中で考えていかなければいけないと思っています。

また、調べものをしていて、滋賀県立図書館から取り寄せてもらった古い雑誌を借りました。カビの臭いがして仕方なく我慢しながら頁をめくっていました。カビの臭いはなんとかならないものでしょうか。

<岡田委員>

滋賀県立図書館の資料ということですのでお答えします。書庫は湿度管理を行っていますが、地下にあることもあつて湿気が防ぎにくい面もあります。特別整理期間中にアルコール消毒をするなど、対応はしていますが量が膨大であるため全部に対して施すことはできていないのが現状です。

<馬淵委員>

ネットで調べることができず掲載されている雑誌の現物を確認しなければならない調べものでしたが、古い本なので仕方がないのかなとは思いました。現物を確認できたことは

ありがたいと思っています。

<岡田委員>

現物を保存することは重要だと考えていますので、できる限り劣化を防ぐ努力を続けていきます。

<武藤委員>

資料、5頁(ア)、図書館サポート隊との協働の項目の中高生サポーターについての意見です。高校生になると忙しくなり読書離れが危惧されますので、高校生に図書館を利用してもらう取組が大切だと考えます。図書館サポート隊はさまざまな活動をしているので、各グループのチラシを中学校や高校に配布できるとよいと思います。

自分が中高生のときの経験で、部活関係の本を借りたかったのに図書館にはあまりなかったということがありました。中学校から部活で新しいことを始めたときに、その分野に関する本があれば借りていたと思います。例えばティーンズコーナーに部活のブースをつくってはどうか。部活に関する資料が充実していれば、中高生も本を借りに来ると思います。

<岸本会長>

市外在住者が高校生になって、守山市内の高校に通学するようになり、図書館に来る人もいると思います。特に高校生に向けたPRを新たに考えることも大切だと思います。

<足達委員>

絵本の読み聞かせは子どもたちにとって人とのぬくもりを感じることができる機会であり、重要だと感じています。家庭でもそのような関係を大事にしてほしいと思い、幼稚園では週に1回絵本の貸出を行っています。

幼稚園の教員が最近気になっていることは、絵本をめくる動作が上手にできない子どもたちが増えていることです。頁をめくるときに破ってしまう子どもが多く見受けられます。家庭でも絵本に親しんでいる子どもは頁をめくることも上手なのですが、そうではなく本の扱いがわかっていない子どもが増えていると感じます。

<久米委員>

私は、市内小学校の代表です。資料6頁イの学校図書館との連携が学校にとっては一番重要だと思います。

読書習慣を取組としている学校は多いのですが、中身の充実が課題として挙げられます。読書の時間を静かに集中できる環境にできているかどうか読書率の向上に影響してきます。各校に工夫をお願いしているところです。読書タイムの削減は懸念しているところですので、時間の確保については継続して取り組んでいます。

また、学校司書を配置していただき、たいへんありがたいと思っています。9校を3人で担当してくださっていますが、週1回来ていただける日がたいへん待ち遠しいです。

学校司書という専門の知識をお持ちの方が図書室の経営を助けてくださることは心強い

です。司書教諭は担任と兼務で図書室の経営に専念することが難しいです。学校司書が来ていただくことにより、出勤時にしていただけることを決め、見通しをもって取組ができています。各校でもそのように取り組んでいただければと思います。

そして、市の学校図書館部会では毎年1回読書感想文集を発行しています。守山市内の各校の最優秀作品を掲載し、3学期に配布していますが、活用が課題となっています。来年は読書感想文に取り組む直前の夏休み前に配布し活用してもらえたらと考えています。

(ウ)図書館見学(全小学校3年生)の推進については、図書館でお考えいただいているということでしょうか。

<事務局>

はい、そうです。

<久米委員>

総合学習の始まりの頃、授業の一環で図書館見学を行ったところ、その後は児童の図書館利用が増えました。今回、小学校3年生で図書館見学を推進されるのは、非常によい取組だと思いますので、時期の調整をしながら全校が見学を実施できるようにしていただきたいと思います。

<丸田委員>

私は、市内中学校の代表です。資料8頁(5)、読書日本一のまちづくりへの取組の中の学校図書館機能の充実、北部図書機能の充実に向けた施設整備の検討等についてお話しさせていただきます。

北部については、これを見た時に「やった!」と思いました。いまの図書館は明富中学校から生徒が自転車で来ようとするすると30分以上を要します。やはり遠いので図書館利用は進んでいないのが現状です。

学校図書室については、学校司書の方に来ていただいてレイアウト等が充実してきました。

明富中学校の図書室は3階の隅にある校内では不便な場所ですが、よく利用されています。本が好きな子の癒しの場になっています。学級でも手軽に読めるよう学級文庫を配置しています。

できることは精一杯取組んでいるのが現状です。これからさらに読書量を増やそうとするとデジタルブックの活用が必要だと感じています。ギガスクール構想の中で、本をデジタル化して読めるようになるのが望ましいと思います。

<浅田委員>

私は、週1回、地域のデイサービス事業で高齢者に向けて紙芝居を読んでいます。高齢者はすごく喜んで楽しみにしてくださっています。守山市立図書館の紙芝居はずいぶんとお借りし、他市の図書館にも借用に行っています。

図書館で紙芝居が借りられることに感謝しています。もっと紙芝居が増えればいいと思っています。

<岸本会長>

それでは、次に、協議事項3点目の「北部地域の図書機能およびコミュニティ機能の整備」について事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料に沿って説明

ウ 北部地域の図書機能およびコミュニティ機能の整備について【資料3】

<岸本会長>

それでは、ただいまの説明に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたら、挙手のうえ、発言をお願いします。

<丸田委員>

現図書館になかなか来にくい北部地域の生徒が自転車で行ける範囲に図書機能ができることは非常に喜ばしいです。外観デザインも現図書館とマッチしていて素晴らしいと思いました。ぜひ駐輪場の台数を充実していただきたいと思います。

<岸本会長>

これが基本設計で今年度中には実施設計を行い、来年度に工事に着工するというのですか。

<事務局>

はい、そうです。

<岸本会長>

次に、報告事項へ移ります。

報告事項1点目、「令和3年度上半期の図書館の運営状況について」を事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料に沿って説明

ア 令和3年度上半期の図書館の運営状況について【資料4】

<岸本会長>

それでは、ただいまの説明に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたら、挙手のうえ、発言をお願いします。

<武藤委員>

資料5頁、6広報活動のInstagramについて、フォロワーが増えてきているので内容の充実をしてはどうでしょうか。

図書館の「映える」写真、図書館と季節の写真、カフェの料理の写真を掲載するのもいいですし、利用者から写真を募集してグランプリを開催するのも面白いと思います。4,000人のフォロワーがいる他の図書館を見ると、職員がおすすめする本の写真をアップされていたりするので、そうしたことをするとよりInstagramが活用されるのではないのでしょうか。

<岸本会長>

フォロワーは、その後も順調に増えていますか。

<事務局>

本日現在で400人を超えています。

<岸本会長>

フォロワー2,000人、3,000人をめざしてがんばってください。

ぜひ、委員の皆さんもフォローしてください。周囲にInstagramをしている方がおられたらお薦めしてください。お願いします。

<今関委員>

インターネットの環境がないので、図書館に直接来館して利用します。館内の階段近くのサポート隊の紹介カード、カウンター前のPOPも充実してきています。他の地域の友人が守山市立図書館の充実ぶりをすごく羨ましがっています。魅力的な本の展示ができています。

私は、わからないことはなんでも図書館の司書さんに相談します。どの司書さんもしっかり対応してくれています。ある資料を希望したとき、調査の結果、県内に資料がなく、近畿圏内にもない資料でしたが、最終的に長崎原爆資料館から取り寄せて提供してくれました。図書館だけでなく資料館とも連携していることがわかりました。

わからないことがあったとき、期待を裏切らない図書館、図書館の司書さんになってきたと思います。

<岸本会長>

Instagramにはきれいな写真もそうですが、図書館の働きが伝わる写真を掲載してもらいたいと思います。そうすれば守山市立図書館らしいInstagramになると思います。

次に、報告事項2点目の「図書館見学用DVDの作成について」を事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料に沿って説明。

イ 図書館見学用DVDの作成について【資料5】

<岸本会長>

上映の前に、作成をされた守山ビデオクラブの山田委員よりご紹介をお願いします。

<山田委員>

スタッフの方も苦勞されたと思います。ナレーションがすばらしく感動しました。子どもにわかりやすく非常に上手でした。

(DVD上映)

<岸本会長>

DVDは、学校でも活用していただければと思います。

最後に佐伯副会長から一言お願いします。

<佐伯副会長>

北部図書機能の整備は20年来の念願でした。それができるということで「やった！」という丸田委員のご発言に同意します。

また、今日は学校現場で図書館と連携してがんばっているという現状のお話が聞けたことがよかったですと思います。かつて速野小学校で6年生を送るおはなし会に参加させていただきました。そこで絵本の読み聞かせを見せてもらって、知らない絵本に出会い、すごく感動しました。それ以後、いまも私はその絵本を読み聞かせするときの一冊としています。

<岸本会長>

ありがとうございます。

5 その他

<岸本会長>

その他の項について、事務局から何かありますか。

<事務局>

次回、今年度第3回目の図書館協議会の開催についてでございます。現在のところ、2月頃を予定しておりまして、日程が決定次第、委員の皆様には、ご案内させていただきますので、よろしく願いいたします。

<岸本会長>

委員の皆様、公私何かとご多用のこととは存じますが、ご出席賜りますよう、よろしく願いいたします。

本日は、円滑な議事運営、また忌憚のないご意見、活発なご議論を賜りまして、ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

6 閉会

<事務局>

岸本会長、委員の皆様、大変ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和3年度第2回守山市図書館協議会を閉会いたします。

お帰りの際は、お気をつけてお帰りいただきたいと思います。

本日は、誠にありがとうございました。

以上